



こどものことばの発達

赤ちゃんは生後5～6か月になると「だぁ～」「ばぁ～」などの喃語^{なんご}を話しはじめます。「楽しいね」「どうしたの」など、大人が話しかけてあげましょう。赤ちゃんは大人とのやりとりの中でコミュニケーションの楽しさを覚えていきます。

★ことばの話しはじめの時期

1歳6か月前後になると、日常生活の中で覚えた単語を話しはじめます。お子さんの興味があるおもちゃや絵本を、見せて、触り、聞かせ、「モグモグ」「ビューン」など、擬音をもちいながら一緒に遊びましょう。童謡や手遊び歌ではリズムとことばを一緒に覚えることができ、また、繰り返しのワードがある歌は、ことばを覚えていくのにぴったりです。

★子どもへの声掛け

おむつ替えや食事の時に「きれいになったね」「おいしいね」、お散歩中に「お花だね」「車だね」と短く簡単なことばで声をかけましょう。生活の中には、ことばを覚えるチャンスが何度もやってきます。「ごはんだよ」「おふろだよ」など、その場面にあった言葉がけをしましょう。

また、ことばの発達には、人とのやりとりの中で「伝わった」という経験が大切です。子どもが話しかけてきたら、「そうだね、〇〇だね」と大人が答えてあげましょう。

★生活リズムを整える

ことばの発達を促すには生活リズムを整えることがとても大切です。食事や睡眠の時間を整えたり、日中は体を使ってたくさん遊びましょう。食事は良く噛むように声掛けしましょう。

※0～3歳頃は個人差が大きい時期です

同じ月齢のお子さん比べてことばが遅い気がするかと心配される方もいますが、ほかのお子さんと比較せず、お子さんの過去と今を比べてみましょう。

●こんな時は相談を

2歳で意味のあることばが出ない、3歳で2語文が出ない、呼びかけに振り返らないなどがあれば、ご相談ください。

スマートフォンとことばの発達との関係

お子さんが一人でスマホの映像を見ている時は、ことばを意識せず受動的に映像だけを見ていることがあります。スマホの視覚的な情報に過度に頼る生活が続くと、ことばでやり取りする力が育ちにくくなる危険性があります。ご家庭でのスマホ使用のルールをしっかりと決め、子どもが一人で使用せず、大人と一緒に、映像を見ながら、「大きいね」「早いね」など、声掛けしながら楽しみましょう。

問 子ども家庭センター 親子保健係 ☎356-6711

親と子の関係を育てるプログラム

(CCAP版 親と子の関係を育てるペアレンティングプログラム®)

子どもが言うことを聞かない…、つい怒鳴ってしまう…、しつこくどうしたらいいの…？
そんな思いを抱えている保護者が親と子のコミュニケーションを学ぶ講習です。

- と き 7月17日(金)、8月7日(金)、8月28日(金)、9月18日(金)
10月9日(金)、10月30日(金)、11月27日(金)
※全ての日程に参加していただける方が対象です。託児(5人程度)もあります。
- 時 間 午前10時～午前11時30分
- と ころ 保健福祉センター
- 対 象 者 3歳から小学校3年生までのお子さんを持つ保護者
- 定 員 10人(定員になり次第締切)
- 申込方法 右記二次元コードよりお申し込みください。
- 申込期限 6月30日(火)まで
- 講 師 CCAP認定ファシリテーター(公認心理師、臨床心理士)
- 費 用 無料



詳細は二次元コード
からご確認ください。



問 子ども家庭センター 子ども家庭係 ☎356-6711